

Kanagawa East
Rotary
Club



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2024-2025年度 第1週報 No. 2267 2024年(令和6年)7月5日 第2267回 例会記録 7月12日発行

本日〈7月12日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 洋食
- ◆ 卓話 新年度挨拶
会計、職業、社会、国際、青少年、SAA、プログラム



羽田空港 撮影:田中龍太郎会員

司会 岡部雄一郎 副幹事

点鐘 田口健太郎 会長

斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
ソングリーダー 松井 麻律 会員

四つのテスト 北村 大輔 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

米山奨学生紹介 ゲン・ティ・ハウ様

特別行事

◎年度始めセレモニー

◆認証状引継ぎ



2024-2025年度 RI会長 ステファニー・アーチック



第2590地区 ガバナー 長戸はるみ

会 長	田 口 健太郎	会 計	渡 辺 好 史
会長エレクト	馬 場 佳 子	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	西 山 潔	S A A	月 山 勇
副 会 長	河 野 明 光	副 S A A	網 野 雅 広
幹 事	角 野 弘 幸	副 S A A	加 野 亮 一
副 幹 事	岡 部 雄 一 郎	クラブ会報	玉 村 由 起

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)

例会場 崎陽軒本店

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局

〒220-0011

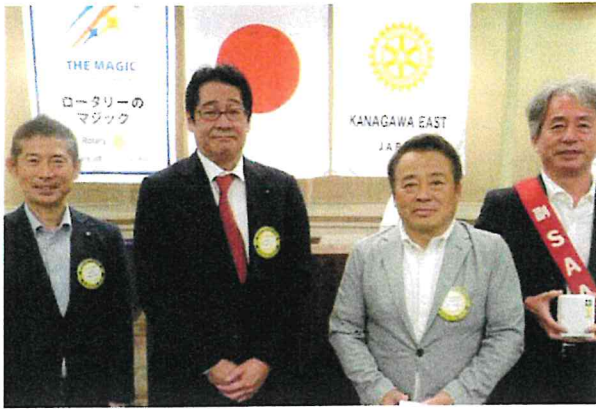
横浜市西区高島 2-6-38 岩井本社ビル 317A-B

TEL: 045-442-7131 FAX: 045-442-7978

創立記念日

昭和51年5月29日

◆直前会長・直前幹事へ記念品贈呈



◆乾杯発声



吉田隆男パスト会長

◆崎陽軒様へ謝礼贈呈



◎米山奨学金贈呈



米山奨学生 グェン・ティ・ハウ 様

皆さん、こんにちは。

奨学金をいただけたおかげで、経済的な不安から解放され、勉強に集中できるようになり、様々な活動にも参加させていただき、誠にありがとうございました。

先月は米山記念館を訪れました。他のクラブの奨学生と交流しながら、ロータリーについてさらに深く学びました。また、クリエイトホープデーでは坐禅体験やベジタリアン料理を楽しみました。戦争に関する動画を鑑賞した後、「これからどう生きるか」というテーマで参加者とディスカッションを行い、非常に充実した時間を過ごしました。これからも頑張っていきたいと思います。よろしくお願致します。

会長報告 田口 健太郎 会長

・2023-24年度第2590地区カバナー 樋口 明氏と地区幹事 黒田隆嗣氏よりお礼状が届いておりますので回覧致します。

幹事報告 角野 弘幸 幹事

- ・次週、例会終了後に7月度定例理事会を開催致します。
- ・横浜都筑RCよりビジターフィー変更のお知らせが来ておりますので回覧致します。(4,000円→4,500円)
- ・組織表と年間プログラム予定表をBOXに配布致しましたので、ご確認下さい。
- ・会費82,500円→90,000円値上げの報告。
- ・活動計画の校正が出来上がりましたので回覧致します。関係個所の確認をお願い致します。

誕生日祝 岡部 雄一郎 会員 (7月10日)



出席報告 池田 広樹 出席委員長

会員総数	49名	(29+20)名	
出席会員数	35名	(21+14)名	
出席率	81.34%		
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	78.26%	前々回補正後	82.98%

岡部雄一郎君 ①田口会長・角野幹事・クラブの皆様、一年間よろしくお願ひ致します。②誕生日祝いありがとうございました！

青柳 紀君 田口新年度に期待して！

山本 登君 新年度宜しく！

鴻 義久君 田口会長、角野幹事、2024～2025年度よろしくお願ひ致します。

吉田隆男君 田口会長、角野幹事、理事、役員の皆様、一年間よろしくお願ひ致します。

加藤仁昭君 いよいよ新年度のスタート。田口会長、角野幹事、理事、役員の皆様の大活躍を期待します。

矢野修二君 田口・角野丸の出港をお祈り致します。

伊東英紀君 田口会長、角野幹事、1年間よろしくお願ひ致します。

西山 潔君 田口会長、角野幹事、理事、役員の皆様、1年間よろしくお願ひ致します。

植田清司君 田口・角野丸の出港おめでとうございます。一年間よろしくお願ひ致します。

角野弘幸君 ①新年度！よろしくお願ひ致します。②加藤さん、山田さん、金森さん、水曜日はお世話になりました。二次会の余りをニコニコに入れます。

渡邊 淳君 新年度のご挨拶 Enjoy Rotary !

金森欣一君 いよいよ新年度ですね。田口会長、角野幹事、がんばって下さい。

加野亮一君 やつと皆さんと同じ席に戻って、これでホッとしています。

馬場佳子さん 田口会長、角野幹事、1年間よろしくお願ひ致します。

北村大輔君 田口会長、角野幹事、一年よろしくお願ひ致します。

月山 勇君 期待を大きく背負っての田口丸の出航です。角野幹事のブレーキの効き具合いかがですか？頑張ってください。

7月5日 17件 55,000円

本年度累計 55,000円

年度目標進捗状況

新年度挨拶



今年度は当クラブ創立50周年を控えていることもあり“一度立ち止まり、今後のクラブ活動について熟考する一年”として活動いたします。人口減少・中小企業数の減少・価値観の変化等により、全国のクラブ数と会員数は減少する傾向にあります。しかし、ロータリークラブが消滅することはなく、その存在意義は未来永劫存続すると思われまふ。当クラブは、これまで諸先輩方の御尽力により、地区におきましても比較的優位性を保ちながら存続して参りましたが、諸問題は各クラブ共通の課題となっており、持続可能性の観点からロータリー活動について再度熟考する機会にしたいと考えておりますので、各委員会でその活動の再検討・再定義をお願いいたたく存じます。その結果、一年を通して熟慮した各委員会の活動指針が50周年以降の50年を支える礎となり、存続・発展に寄与すれば幸いです。

■クラブ会長指標

テーマ 「たかがロータリー されどロータリー」

ロータリークラブに対する価値観は各会員それぞれですが、何らかの価値観を共有して繋がっています。その価値観とは何なのか？各会員が各委員会で考証し、ロータリー活動の再検討・再定義の一年になれば幸いです。

■重点指標

・温故知新

半世紀に及ぶ神奈川東ロータリークラブの知見を学び直し、今後の活動指針の基になる新たな道筋を見つける一年にして下さい。当クラブには、幸いなことにチャーターメンバー他の歴史の当事者が多く所属されていらっしゃるため、各委員会で行っていただく議論の場で総括する際に先輩の知見に耳を傾けてみて下さい。

・奉仕活動の延期・停止

各委員会で議論に特化した一年にするため、原則として奉仕活動を延期・停止します。ただし、委員会で必要と判断した奉仕活動については実施いたしますので、各委員会で今年度事業の必要性について早急に議論していただき、結果については会長・幹事へ報告して下さい。また「家族会」「優良職場訪問」は実施いたします。

・自由闊達にて愉快なる理想クラブの構築

一年間、委員会やテーブルミーティング等において、各自で自由闊達な議論を展開して下さい。目的はクラブの硬直化や閉塞感の打開と今後における活動方針の再定義です。ただし、異なる主張や意見により衝突や対立する場面が想定されますが、各会員の意見統一が目的ではないため、各会員の主張を認め合う形で議論が展開されるようお願い申し上げます。

・各委員会における議論の内容

※ 議論した論点をすべて報告書に残して下さい。

前半7～12月【今年度における継続活動の必要性について】

【過去の活動について総括】活動内容・課題・問題点等々

また、各委員会だけでなく、各クラブと交流する合同例会を設ける予定になっておりますので、そのような機会も活用して、理想クラブの未来像を描く一助にしてください。

→合同例会予定クラブ 横浜東RC その他のクラブとも打ち合わせ中です。

◆副会長 西山 潔



この度、田口会長の下、副会長を拝命致しました、西山 潔です。次年度に創立50周年を迎える歴史と伝統のある神奈川東ロータリークラブの副会長としてその重責の重さに身の引き締まる思いであります。今年度一年誠心誠意にこの職務を全うしていく覚悟であります。

田口会長の示された今年度のクラブテーマは「たかがロータリー されどロータリー」であります。会長は会員それぞれのロータリーに対する価値観は違うけれど共通する価値観を見出して会員皆さんが繋がる事を考えられています。

私は我がクラブは「和を以て尊しとなす」の和の精神を大切にしているクラブであると感じております。川柳同好会、ゴルフ同好会、グルメ同好会、温泉同好会等、活発に活動している同好会が会員の親睦の場として会員の交流に欠かせない存在となっております。親睦により自分の視野が広がりその中で自分では出来ない経験や知識を手に入れられる、このような事がロータリークラブの良さのひとつであると私は思っております。

親睦を図りクラブを一体感のあるものとし結束力を高めたいと思っております。そして我がクラブの良き伝統を継承し50周年に向けての橋渡しができる様に全身全霊で職務に取り組む所存であります。

副会長として与えられた職務はクラブ奉仕委員会の担当委員長となっておりますので、クラブの活性化、会員の増強、退会防止、ロータリーライフの質の向上等、多岐にわたっております。今後会員の皆様と議論を展開して参りたいと考えております。

今年一年、田口会長、角野幹事を全力で支え、先輩諸兄から学んだ大切な教えを守り、魅力あるクラブになる様に尽力する所存であります。会員の皆様方の御支援、御協力と御理解を何卒よろしくお願い致します。

◆副会長 河野 明光

今年度、田口会長の下で会長経験者としての、副会長およびクラブ奉仕委員会・副委員長をお受けする事となりました。

この副会長2人制度は2003～04年度の会長、石川正三PPが提案し総会決議され今日まで20年間継承されている体制である。それまでは副会長を務める会長ノミニー候補者がクラブ奉仕委員長を1人で務めたが、この年度より会長経験者を同委員会副委員長に据える事で「クラブ奉仕」の更なる活性化を期待した新しいクラブ体制の提案でありました。

そもそも「クラブ奉仕委員会」にはクラブを円滑に機能させる為に必要な活動の全てがこの「9の委員会」に組み込まれており、それは会員どうしの親睦、積極的な会員増強、例会の要であるプログラム、新会員の学びの場である研修、等々である。これらを踏まえ、今年度は西山クラブ奉仕委員長と共にクラブの魅力さをさらに引き出し、未来へつなぐクラブ創りのお手伝いが出来ればと考えている。無論、副会長としての役割も執行役員1人として、当年度が前年度以上に魅了ある一年となるよう微力ながら努めたいと思っています。会員各位のご理解とご協力をお願い致します。

◆会長エレクト 馬場 佳子



本年度、会長エレクトの馬場でございます。RI会長のテーマ「ロータリーのマジック」とは、会員一人一人の行動によって生み出されるものであり、よくも悪くも、私達の行動如何で「ロータリー」の価値が変わる、ということを示されています。その中で特に、「平和を優先すること」、「継続と変化のバランスを大切にすること」を挙げられています。後者の変化については、最近よく耳にするDEI「多様性、公平さ、インクルージョン（誰もが排除されずに活躍することが可能な環境）」を取り入れることが推奨されています。簡単に言えば、人間すべてがフラットであり、心をオープンにして互いの違いを認め合い、同じところは共感し合える、そんな環境のことで。これらが、私たちの大切にしている「ロータリー」の価値を高める、ということですが、しかし、どちらも簡単ではありません。一方、2590地区の長戸ガバナーのメッセージは「次世代につなごう！！」です。わたしたち、神奈川東ロータリークラブは、世代やロータリー歴でいえば、80歳代以上の方と、入会10年未満の方が多く、中堅の方が少ない状態になっておりますので、ガバナーメッセージのとおり、まさに、この次世代に繋ぐことが非常に大切な時期になっております。焦る必要は全くありませんが、ここ1-2年の、絶対になんとかしたい課題の一つではないでしょうか。

そして、我が田口会長のテーマは「たかがロータリー されどロータリー」です。正直申しますと、このテーマを聞いた時はびっくりしましたが、クラブ活動計画をよく読んでみると、なるほど、と思いました。私は入会してまだ丸6年目、7年目ですが、1年があつという間で、毎週の例会やそれぞれの奉仕活動に追われて参加するだけで精一杯、というのが正直なところでした。その間、コロナ禍という未曾有の災害の影響も大きかったとは思いますが、中堅会員が少なからず退会に至り、そしてこれまでの奉仕活動の多くを見直さなければならなくなりました。この時期に立ち止まってよく考えることは、まさに今後のクラブにとって大切なことだと思いますが、反面、勇気のいることだと思います。誰も考えず行動しない、又は一部の方だけが考えている状態となった場合は、何も生み出さなればかりか、このクラブの価値を下げってしまうからです。しかし、みなさま一人一人がお考えいただき、そして行動していただけたら、きっと、1年後の50周年を終えたころには、この神奈川東ロータリークラブの価値は、高度成長期のようにうなぎ上りとなるでしょう。そんな1年後、2年後の当クラブの姿を見据え、私も微力ながら貢献してまいりたいと存じますので、クラブ一丸となって頑張っていきましょう！楽しく、でも真剣に。1年間、よろしくお願ひ申し上げます。

◆幹事 角野 弘幸



今年度、田口会長のもと、幹事を仰せつかりました角野です。会員の皆様には、これから1年間いろいろとお世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

まずは、理事、役員をはじめ各委員会の委員長の皆様には、快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。皆様にお願ひした時点では、事務局職員が交代するとは考えていませんでした。今までは、本来各委員長や各会員がやるべきだったことを、事務局ができてしまうが故にお任せしてしまっていたことが多々あったと思いますが、これからはそうはいきません。皆様には、特に各委員長には、今まで以上のご苦勞をおかけすることとなりますが、何卒よろしくお願ひいたします。ただし、委員長だけが苦勞することのないよう、各委員、会員の皆様にもご協力をお願ひいたします。

また、事務局からの文書提出の依頼、出欠確認等の回答については、期限を厳守していただくようお願ひいたします。事務局の長澤さんもまだまだ慣れない点もありますので、なるべく

負担をかけないようにご協力をいただくと幸いです。

田口会長のクラブ会長指標テーマは「たかがロータリー されどロータリー」です。一度立ち止まって「ロータリーとは？」「奉仕とは？」何をすべきか皆様でよく議論をしていただく1年にしたいとの思いです。そのために各委員会は月1回以上委員会を開催してください。継続している事業の実施の検討については時間的猶予がないものもありますので、できるだけ早い時期に第1回目の委員会を開催してください。その際には会長、幹事も可能な限り出席しますので委員会日程の検討の際には声を掛けてください。そして、委員会での議論については、必ず報告書を提出してください。報告書のフォーマットは事務局にありますのでそれを利用してください。

今年度より会費が上がりました。とはいっても固定費も増えていますので、財政的に余裕があるわけではありません。限られた予算の中で適正な活動が行えるよう努めてまいります。

今年度の日程についてですが、山田ガバナー補佐の公式訪問は7月19日、長戸ガバナーの公式訪問は8月2日とかなり早めの日程となっています。クラブ協議会は7月、2月、6月の3回、クラブフォーラムは例会の卓話の時間を使って9月、10月、3月、4月の4回を予定しています。各委員長は準備をお願いいたします。クラブ協議会、クラブフォーラムは各委員会の活動がよくわかる良い機会ですので、特に入会して日が浅い会員は、積極的に参加してください。インフォーマルミーティングは8月、1月、6月の各最終例会が夜間例会となります。1月31日の夜間例会は神奈川ロータリークラブとの合同賀詞交歓会で、今年度は当会が幹事会になります。移動例会は例年5月に行っている春の家族会を今年度は秋の家族会として9月8日に行い、その他に11月22日の優良職場訪問、12月22日の年忘れ家族会の3回を予定しています。なお、今年度は金曜日の祝日が少ないので、年間の例会の回数を調整するために休会を多めにとっています。

繰り返しになりますが、事務局職員が交代したことで特定の会員が大変になることは避けたいと思っています。全員で協力し合って、年度が終わるときには「大変だったけどみんなよくやったね」と言い合えるよう、クラブを盛り上げていきたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

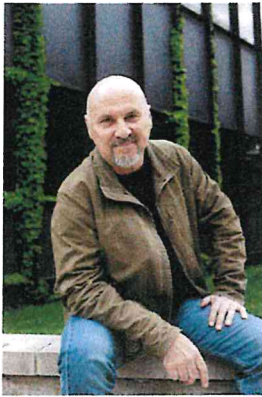
ロータリーニュース

ポリオを追跡した18年を写真家が振り返る 世界のポリオ根絶活動を記録した展示

5月29日までシカゴ・フォトジャーナリズム・センターで行われた「Chasing Polio (ポリオを追跡して)」をテーマとする展示で、18年間の歴史が紹介されました。写真家のジャン・マーク・ジブーさんは、ポリオがもたらす影響やポリオとのさまざまな闘いを記録するため、17カ国を訪れました。自身が気に入っている写真、最も苦勞が多かった旅、ロータリー会員による支援などについて、ジブーさんにお話を伺いました。

Q: ポリオ根絶活動の写真を撮ることに関心を持ったきっかけは何ですか。

A: 1997年、私は21世紀に突入することについて優れた題材を探していました。シカゴ・トリビューン紙に掲載されたロータリーとポリオ根絶活動についての記事を見て、ロータリーに電話をかけました。「(ポリオについての)ストーリーを題材に写真を撮りたいが、どうしたらいいか」と尋ねました。長いこと話し合い、最終的にロータリー財団からこの撮影のための補助金をいただくことができました。翌年、写真は『Life』誌に掲載され、その1週間後、世界保健機関からシエラレオネに行きたいかという連絡を受けました。これが18年間の旅路の始まりになるうとは夢にも思っていませんでした。



ジャン・マーク・ジブーさん

Q: 国によって撮影の難しさが異なりますか。

A: インドは25年間も訪れているので、気楽に仕事ができます。どこに行けばいいかも分かりますし、インドの人たちは写真を撮られることにあまり抵抗がないようです。25年間で10回は訪れています。アフガニスタンとパキスタンはもっと困難でした。アフガニスタンでは通訳者が必要ですし、治安という点でも難しさがあります。

Q: 一般的に、ポリオ根絶活動を撮影することは難しいですか。

A: ポリオの予防接種活動を撮影した経験は、全般的に非常に好ましいものでした。貧困や戦争がある場所に出向いていく中で、ただ誰かを助けたいと願う人たちと一緒に活動できました。どこに行っても、みんなが好意的に受け入れてくれました。

Q: この展示で気に入っている写真はどれですか。

A: シエラレオネの障がい児施設で写した子どもたちの写真です。ありふれた、学校に通う子どもたちの写真ですが、とても気に入っています。アフガニスタンでクーラーボックスを持って歩く男性の写真もあります。私は一日中、予防接種従事者による戸別訪問に同行しました。2002年当時はまだ警察のエスコートなしで大丈夫でしたが、その後、危険な状態となってしまいました。

Q: ロータリーとの協力がきっかけで思いどおりの写真が撮れたことはありますか。

A: ナイジェリア北部のカノでの初日の朝、私は撮影に出かけましたが、1枚も撮らないまま、カメラを持っているという理由で逮捕されてしまいました。二人の大男に捕まってしまったので

す。その時、制服姿の警官を見たので、私は駆け寄って「この人たちは本当に警官ですか？」と聞くと、「彼らは移民局関係の警官だ」と言われました。私は仕方なく、彼らと一緒に車に乗り込みました。

パスポートは没収され、ホテルから2日間、外出できませんでした。しかし、カノにあるロータリークラブ会長であるロータリアンが、私のために交渉してくれたのです。実際に何をしたのは言いませんでしたが、パスポートを取り戻してくれました。

Q: ポリオ根絶活動の写真を撮り始めたとき、このような問題に直面すると予想していましたか。

A: まったく予想していませんでした。最初に行ったのはエチオピアで、南部の部族地域を見に行きたかったのですが、雨季だったので真夜中に泥にはまってしまいました。予防接種の写真は撮れましたが、帰るのに3日ほどかかりました。このような問題に頻繁に直面しましたが、私が何とか現地にたどり着いたように、ポリオのワクチンも届けなければなりません。その難しさを目の当たりにしたのは貴重な体験でした。子どもの口に2滴のワクチンを落とすことは、そんなに難しいことではありません。そこにたどり着くのが難しいのです。



保健センターで乾燥されるクーラーボックス。予防接種活動での主要な課題の一つは、コールドチェーンを維持することです。ワクチンの製造時から使用時まで適切な温度で保つ必要があります。デリー（インド）、2004年。



慈善団体Cheshire Ethiopiaが管理する施設で遊ぶポリオに罹患した子ども。アディスアベバ（エチオピア）、1997年。

次回〈7月19日〉の予定

新年度挨拶

出席、職分・会選、会報、親睦、雑誌、会増